



群馬医療福祉大学看護学部

教授 豊島 幸子

看護師・養護教諭を育てることは人間力を育てること

私はナイチンゲール精神に育ち、日赤病院の内科病棟看護師を第一歩として、小学校・中学校・高校の養護教諭として長く働きました。今、群馬医療福祉大学看護学部で看護師や養護教諭を育てる仕事をしています。私の日常を思いつくままに書かせていただきます。

「看護師のやさしさ」の研究

昨年から「看護師のやさしさ」の研究に取り組みはじめました。まずは本大学の看護学生を対象に「看護師のやさしさ」という言葉をどのように捉えているのかという点についてアンケート調査を行いました。学生の「やさしさ」の捉えと意識の実態は、一般的な「やさしさ」と識別している大きな特徴があることに気づきました。そして『やさしい気持ちで患者さんに接することも大事だと思うが、医療についての正確な知識や高い技術を身につけて看護にあたるのが真のやさしさだと思う』とか、『看護師としての自分自身を厳しく見つめる気持ちが患者さんへのやさしさ』などと語った学生に代表されるような、確かな意識を持ち合わせている学生が少なくないことに驚かされました。看護の経験の少ない学生でありながら「専門的知識」「厳しさ」の重要性を取り上げており、知識を経験に応用していく過程にあることがうかがわれます。医療現場にはさまざまな課題がありますが、看護が患者の自立に関わるという大きな責任のある仕事であることを意識しているからこそその表現であり、学生が日に日に成長していることを確かめることができほっとしています。患者を取り巻く環境を整えることがナイチンゲール精神ですから。

学生と教職員が共に心を磨く

学生の心の成長に触れるにつれて、自分自身もさらに勉強しなければならないことを痛感しはじめました。事故や事件の続く医療や福祉の現場には知識、技術を問う研究と共に「やさしさ」という目に見えない心の内面の研究は欠かせないと感じさせられます。つまり両方とも同様に大切なのです。

高齢化時代に突入した今、高齢者と若者が交流の機会をもち、手を取り合いながら共により快適な生活を実現することが求められています。学生と共に生活できる私たち教職員にとって、大学は共に心を磨き合うことができるチャンスが与えられていると思います。

神秘的不思議な場を読み取る

先日、後期のオリエンテーションがありました。陽明学の権威である井上新甫先生の講話がありました。「心の在り方によって、私たちは何でもできる」「プラスにもマイナスにも自分次第でできる」「看護では患者さんの霊的、神秘的不思議な場を読み取ることが求められる」等の話を聞きました。「これはすぐにできることではない。多くの人と出会い、読み取るパワーを蓄えていくことが大事だ」と感じました。先生の著

作である『王陽明と儒教』の中の「人の応対・友人との会話・家庭との会話、皆自分を磨く舞台である」という言葉が看護に携わるものの心に強く響きます

養護教諭の仕事って素晴らしい

養護教諭の仕事はまさに人間性磨きに思えてなりません。教師自身を磨ける職業であると強く思います。心に傷や悩みを抱く子どもたちは、信頼関係づくりができて初めて養護教諭に自分の心のうちを話そうという気持ちになるのです。長い間、養護教諭として働いた時代を振り返るとそのような記憶が次々とよみがえります。そんな子どもたちと交わした言葉や、ともに過ごした空間の記憶、こどもたちをともに支援する中で出会えた方々とのつながりが私を成長させてくれました。ですからそれが私の一番の宝です。養護教諭としての職を退

職して感じることは、「養護教諭の仕事って素晴らしい！」ということです。大学では先日、養護教諭一種免許取得のための教育実習発表会がありました。学生の表情は教育実習に行く前の不安がどこへ飛んだのかと思うくらい輝いていました。

人間力を養うこと

本大学は看護師、保健師、養護教諭一種免許取得が可能です。建学の精神である礼儀・挨拶、環境美化活動、ボランティア活動を通して専門力と共に人間力を養う大学です。学生とともに私自身もいくつになってもこの人間力を磨き続けたいと思っています。

最後に、私の授業の最終回で学生に配付している私の大好きな子どもの詩を紹介します。これこそが人間力の源泉と思えるような言葉だと私は思うのですが。

子ども ドロシー・ロー・ノルト（米国の教育学者）

批判ばかりされた子どもは非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもはものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは鈍い良心のもちぬしになる
しかし、激励を受けた子どもは自信をおぼえる
寛容にであった子どもは忍耐をおぼえる
賞賛をうけた子どもは評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは公正をおぼえる
友情を知る子どもは親切をおぼえる
安心を経験した子どもは信頼をおぼえる
可愛がられて抱きしめられた子どもは
世界中の愛情を感じとることをおぼえる



「スエーデンの中学校 教科書」より 訳者 川上邦夫